

1. 授業の概要(ねらい)

本授業では、20世紀半ば以降の国際政治の展開について学習します。

現在が激動の時代であることは間違いありません。たとえば、唯一の「超大国」アメリカの影響力低下が観察できる一方で、中国をはじめとする新興国の台頭が顕著です。また、経済のグローバル化の影響や移民・難民の流入といった様々な課題に直面して、多くの国々で排外主義的ナショナリズムが勢いを増しています。さらに、地球規模の環境変化は一層深刻化していますが、この問題への対応をめぐる国際社会は結束しているとは言い難い状況です。

ただし、日々の報道のみではこうした国際政治の現状とその背景等について十分に理解することはできません。そこで、本授業では1960年代以降の現在に至る国際政治の展開についてアメリカ外交を中心に学習していきます。また、並行して国際政治学の代表的な理論についても適宜解説していきます。

2. 授業の到達目標

- ①国際政治学の基礎的な知識を習得できるようになります。
- ②国際政治に関する理論的思考力を身につけることができるようになります。
- ③日々の国際ニュースの背景などがより深く理解できるようになります。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験と平常点に基づき評価します。それぞれの割合は、期末試験:70%、平常点:30%です。授業態度が悪い場合は欠席扱いとすることもありますので注意してください。

4. 教科書・参考文献

教科書

佐々木卓也編 『戦後アメリカ外交史 第3版』 有斐閣

参考文献

長谷川雄一・金子 芳樹編 『現代の国際政治 第4版』 ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

- ①事前に指定されたテキストの該当箇所を読み、基礎的な知識を習得し授業に臨んで下さい。
- ②授業中に配布するプリントを利用して復習して下さい。

6. その他履修上の注意事項

- ①質問は大歓迎です。疑問点、わからない点などがあれば授業後に聞いてください。
- ②授業中の私語や途中退席等は謹んで下さい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-----------------|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | 米ソ冷戦とキューバ危機 |
| 【第3回】 | ベトナム戦争 |
| 【第4回】 | デタントとその崩壊 |
| 【第5回】 | 冷戦の終結 |
| 【第6回】 | 湾岸戦争 |
| 【第7回】 | 「新世界秩序」 |
| 【第8回】 | 冷戦後の国際紛争 |
| 【第9回】 | イラク戦争 |
| 【第10回】 | 「アメリカ衰退論」 |
| 【第11回】 | 米中関係の変容 |
| 【第12回】 | 米露関係の変容 |
| 【第13回】 | アメリカ第一主義 |
| 【第14回】 | 新型コロナ危機をめぐる国際政治 |
| 【第15回】 | まとめ |